

第4回吹田貨物ターミナル駅調整会議要旨

1. 日 時：平成26年2月5日（水）10：00～10：20
2. 場 所：JR貨物 吹田貨物ターミナル駅 3階会議室
3. 出席者：別紙出席者名簿参照
4. 議事内容

（1）環境影響評価事後監視結果の速報について

鉄道・運輸機構が資料に基づき説明を行いました。

大気汚染・騒音・振動いずれも、各地点とも予測結果を下回っています。また騒音でNo. 13地点は春季に予測結果を上回りましたが、今回の秋季調査の結果と、冬季調査の速報結果より、年平均では予測結果の値以内に収まると考えています。

（2）吹田専用道路の交通量について

JR貨物が資料に基づき説明を行いました。

12月に1日だけ700台を超えて715台を記録した日があり、これまでの1日最大通行台数をわずかですが上回りました。

（3）その他

（専用道路出入り口付近の反響音の調査結果について）

鉄道・運輸機構が調査結果の説明を行いました。

前回調整会議で専用道路出入り口付近のマンションの2・3階の方から反響音のような音が聞こえるという意見があったことについて、秋季・冬季と2回の調査時に気にかけて調査しましたが、確認できませんでした。

<吹田市民からの返答>

その後マンション住民からの声は現時点ではありません。

（専用道路阪急千里線交差部での騒音について）

鉄道・運輸機構が調査結果の状況説明を行いました。

名古屋高速道路で同じような事象があり、問い合わせましたが原因究明に至っていません。現在、鉄道総研に相談しており、1月9日に現地調査をして、結果が出るのが2月中旬です。その結果をもって対策を相談する予定です。

(次回以降の調整会議の開催時期)

事務局より提案があり、以下のように決まりました。

次回は4月～5月中旬にJR貨物より吹田貨物ターミナル駅貨物取扱量の報告と、鉄道・運輸機構より事後監視の冬季調査結果の報告をするため開催します。次々回は事後監視の最終報告が出た後7月ごろに開催致します。

(その他)

Q. 通行台数は現在1日最大715台ですが、これが最高でしょうか、それともこれ以上増えていきますか。

A. 今後、輸送量の増加に伴い通行台数も増えると考えています。但し、通行台数を1日あたり1,000台以内とすることは厳守致します。

以上